

年 組 名前:

問1

山梨大が開発したシステムは、どのような技術で、なにを見極めるシステムですか。

.....  
.....  
.....  
.....  
.....

問2

このアプリは、どこが開発したカラーチャートを利用して判別しますか。

.....

問3

この機能は、5月に発表したスマホアプリ「粒羅」の新機能です。「粒羅」は、どのようなアプリですか。

.....

問4

このアプリを利用することで生産者には、どのようなメリットがありますか。

.....  
.....

# シャイン収穫 AI が判定

## 山梨大アプリ新機能 色合いで見極め



山梨大はスマートフォンカメラ機能で撮影したシャインマスカットの色合いから、人工知能(AI)技術で収穫の適期を見極めるシステムを開発した。県果樹試験場などが開発したカラーチャート(色票)に基づき、AIが数秒で判定する。5月に大学が発表したアドウの粒数を自動判定するスマホアプリ「粒羅」に、新機能として搭載した。大学によると、適期を見極める色合いは、県果樹試験場などが開発したカラーチャートを活用し、AIに学習させた。アプリを起動させて果実の写真を撮影すると、カラーチャートに基づき1(緑色)から5(黄色)までの5色のうち、どの色に近いかをAIが判定し、数値で示す。3程度の色だと「適期」として判定する。

判定に要する時間は長くて5秒程度で、機種によって「1秒で判定できる」(大学)という。収穫適期の判断は品質に直結する重大な課題といい、品質の向上や安定化



スマートフォンアプリ「粒羅」をダウンロードできるQRコード

研究グループの西崎博光教授は「新機能により生産者が客観的な基準に基づいて収穫時期を判断できるようになる」と説明した。(小池直輝)

を旨とし、利用しやすいアプリの開発を進めていた。大学はAI技術を活用してブドウの摘粒作業時に粒の数を測定するスマホアプリ「粒羅」の新機能として搭載し、無料で配布している。生産者に活用してもらい、意見を元にさらなる改良を加える。既に粒羅をダウンロードした利用者は、既に送信済みのメールから更新することで、収穫適期を判定する機能が利用できるようになる。

(2024年8月20日付 山梨日日新聞7面)